

本当の友達とは、親友とは何でしょう。今まではいつも一緒にいる人、気が合う人、同じ歳で仲良しの人、と書いていました。そのように思う人がほとんどだと思います。ですが、もっと考えを広げてみてほしいと思います。この世の中にはいろんな人がいます。中国人などの外国人の方や、赤ちゃんからご高齢の方まで様々な年齢の方がいます。そう考えると私たちが思う友達は、少し視野が狭すぎだと思います。私はある方々と共に過ごし、本当の友達についての考え方が変わりました。

中学二年生の夏、私は約三ヶ月間入院しました。私の病棟には大人の方々ばかりで、子供は見かけませんでした。人見知りの私は、一人ぼっちで心細く、元気になるてはいけないのに、元気がなくなっていくようでした。しかしある日、皆が集まる部屋に二十代前半の男性二人と五十代くらいの女性が

「一緒にトランプしよう。」

と声をかけてくれ、楽しい時間を過ごすことができました。これをきっかけにこの三人と一緒にご飯を食べたり、遊んだりするようになりました。

そんなある日、四人部屋へ移動しました。これをきっかけに私は変わりました。同じ部屋になった、私の祖母と同じくらいの女性が声をかけてくれました。女性と話してみると気が合い、すぐに仲良くなりました。この方がきっかけで話す人も増えました。

私が入院して二週間経った頃、私と同じくらいの年齢の人が入院してきました。私はなぜかこの人と話してみようと思い、声をかけるとまた友達の輪が広がりました。それから、一緒に遊ぼうと、いなくても自然と一緒にいる関係になりました。新しく来た患者さんからどういう関係か聞かれたこともありました。私達はあくまで、同じ病棟の患者同士。年齢も全然違います。でも私は、心の中では友達だと思っていました。自然と同じ場所にいる、自然と笑顔になれて、心が温かくなり、幸せだと思える、これはもう友達というしかないと思います。

そして退院の日、私は一番仲の良いおばさんにある言葉をかけられました。

「寂しいけど、はるちゃんの幸せの方がもっとうれしい。」

と。私は退院してもこの言葉やこの方々のことを忘れたことはありません。私は今でも会えるのならもう一度会いたいと思います。

何も同じ歳の子だけが友達ではありません。お互いが何でも知っていれば友達というものでもありません。本当の友達とは、一緒にいて自然と笑顔になれて、幸せだと思える、そして、お互いが相手の幸せを願い、喜び合える、そんな関係性なのではないかと思います。私の体験から、本当の友達の意味をもう一度考える人が一人でもいたらうれしいです。

私たちはこれから、いろんな人に出会っていくでしょう。最初は話しかけるのにも勇気がいりますし、ましてや歳も離れていけば、ためらうかもしれません。ですが、まずは一歩ふみ出してみましょ。話が合う人もいれば、合わない人もいます。それは当たり前です。私達は一人一人性格も違えば考え方も違います。生まれた年も違くと、生きてきた年数も違うので考え方も違います。いろんな人と話すと自分には持っていない、相手の考え方の魅力も見えたり、新しい考え方や生き方を発見したりして、自分のこれからの生活がより良くなります。その中で本当の友達ができると、お互いに支え合い、足りない部分を補い合うことで自分の強みになります。世界は広がっています。いろんな人の魅力を知り、自分の一生の友達を見つけていくことが大切です。